

令和7年度学校評価報告書

令和8年3月27日

1 本年度の学校教育目標

社会や地域の期待に応え、天売でしかできない教育の実践と社会に自立し共生できる人を育む。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

社会人としての基本的な資質を身に付け、地域の課題に対して主体的に考え、取り組むなど、自ら課題解決していく生徒の育成。

3 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

	評価項目	自己評価の結果	学校関係者等評価の結果
学校経営	教育目標	教育目標と合致した教育実践で目標を達成している。	自己評価・改善策は適切である。
	(改善方策)	学校評価結果を有効に活用し、地域と連携した教育活動に引き続き取り組む。	
組織運営	校務分掌	連携や共通理解ができ、目標を達成している。	自己評価・改善策は適切である。
	(改善方策)	学校経営が円滑になるよう、引き続き共通理解・実践の徹底を図る。	
	校内研修	計画的に研修を実施し、資質・能力の向上に努めた。	自己評価・改善策は適切である。
	(改善方策)	校外研修に参加する機会を確保し、研修報告などを定期的に開催して学校力の向上を図る。	
教育活動	教育課程の編成	生徒のニーズに応じた特色ある教育活動を行った。	自己評価・改善策は適切である。
	(改善方策)	生徒の実態を踏まえ、適切な教育課程の編成に努め、引き続き特色ある教育活動を展開する。	
	特色ある教育活動	天売でしかできない教育の実践を行った。	自己評価・改善策は適切である。
	(改善方策)	学校設定教科「天売学」の年間指導計画を見直し、探究活動の実践を更に発展させる。	
	学習指導	個別最適な学びを大切に実践を行った。	自己評価・改善策は適切である。
	(改善方策)	生徒の実態に応じて、授業改善に取り組み、主体的・対話的で深い学びの具現化に努める。	
	生徒指導	発達支援的な視点を位置づけた取組を行った。	自己評価・改善策は適切である。
	(改善方策)	引き続き生徒個々の状況把握を行い、地域等と連携し社会に自立し共生できる人を育む。	
	進路指導	全職員で3年生の進路実現を果たすことができた。	自己評価・改善策は適切である。
	(改善方策)	自己探究の取組を充実させるとともに、積極的な進路情報の提供を行う。	
	健康・安全指導	心身の健康について保護者等と連携し指導を行った。	自己評価・改善策は適切である。
	(改善方策)	健康を保つために予防的な指導を充実させ、健康・安全に対する意識の醸成を図る。	
学校運営	信頼される学校づくり	天売でしかできない教育の実践が効果的であった。	自己評価・改善策は適切である。
	(改善方策)	学校行事等の取組では、地域との更なる連携を図り、信頼される組織づくりに努める。	
	組織運営	組織的な対応により状況に応じた課題解決ができた。	自己評価・改善策は適切である。
	(改善方策)	生徒・教員・地域の実態を踏まえ、学校としての方向性を町教委と連携し実践していく。	
教職員の資質向上	校内研修の充実	校内研修の充実を図り、資質・能力の向上に努めた。	自己評価・改善策は適切である。
	(改善方策)	計画的に校内研修を実施し、さらなる資質・能力の向上に努める。	
公表方法		学校HP等への掲載を行う。	